

四万十町の新しい文化的施設

まちの文化が流れ、人にひらかれ、人が集まる四万十駅前

文化的施設と町内関係施設等との連携及び役割分担(イメージ図)

文化的施設は施設内だけに閉じたものではなく、まち全体に開かれ、町内の各地域(窪川・大正・十和)をつないでいく役割を果たしていきます

文化的施設を【核】として町内全域にある『既存(遊休)施設』等に機能や役割を分担し相互に補い広げあうことで、町内全体で文化の振興や人の交流を促します



県立図書館・美術館等との連携

2021.7.21発行
特集 | No. 07

発行 | 四万十町役場企画課 文化的施設整備推進室
お問い合わせ先 | 0880-22-3124 担当 | 大河原・松下

【注】本図は活用可能な施設や提供可能なサービスの展開イメージであり、決定したものではありません

四万十町の新しい文化的施設

7/30 締切

「文化的施設整備事業」に係る「意見公募」を実施しています！
「公募する意見の内容」

これまでに策定された「基本構想」「基本計画」「基本設計」を踏まえた上で・・・

- 文化的施設整備事業に関するご意見やご質問
- 実施設計への反映やサービス計画の策定に向けてのご意見やご提案 など



▲意見公募に関する説明資料表紙

サービス計画とは

基本構想や基本計画に基づいて、文化的施設で提供するサービスの基本的な考え方と具体的な実行計画(町民と行政の共通マニュアル)を示したものです。さらに施設が完成して終わりではなく、町民の皆さんが施設を活用していくことで町民自らが創りあげていく(新たなモノを生み出したり、より良いものに磨き上げていく)計画でもあります。

現地説明会・四万十駄場フェス開催!

場所：文化的施設建設予定地(旧役場本庁舎跡地)
日時：8/7(土)午後4時～午後7時

実寸大に描いた基本設計図面を元に現地説明会を開催します。また、5/30に開催を予定し、新型コロナウイルス感染拡大により中止した「四万十駄場フェス」の内容を縮小して開催します。詳細は今後、ちらしや町のホームページ・Facebook等でお知らせしていきますので、そちらをご確認ください。



サービス計画の今後の策定手順(令和3年度)



現段階の「サービス計画(骨子案)」の具体的な内容についてお伝えします!

◆図書館機能◆

図書館は、あらゆる分野・時代・古今東西の資料や情報の窓口です。資料や情報の活用をおとじて町民の方々の学習や課題解決につながり、町の未来を拓きます



- 例えば・・・
- ▶移動図書館を運行し、まちなか図書館(サテライト貸出)を行います
- ▶蔵書冊数を約8.2万冊に拡充します(現：約4.6万冊)
- ▶四万十町関係資料の収集・保存や、町の歴史を記録し保存する取り組みを行います

◆美術館機能◆

四万十町の芸術文化の拠点であり、アートと出会い、様々な体験をする場として、町民の交流と一人ひとりの自己表現の可能性を拓きます



- 例えば・・・
- ▶静寂な展示・鑑賞のみならず対話型鑑賞を行います
- ▶文化的施設のアートスペースや中庭も使いながら絵画・音楽・演劇など様々な芸術活動を行います
- ▶子どもから大人まで参加し、楽しめるプロジェクト型のアート体験などを行います

◆展示機能◆

四万十町に点在する歴史資料に触れる場として、町内外の人たちに町の歴史や魅力をつないでいきます



- 例えば・・・
- ▶四万十の歴史を感じさせるストーリーを持った歴史資料の常設展示を行います
- ▶アートスペース等を使った企画展示を行い、町内の郷土館などへの誘導を行います
- ▶文書のデジタル化とデジタル展示を検討します

◆コミュニティ機能◆

文化的施設は誰でも気軽に利用でき、様々な世代の方が自分の居場所として、また交流の場として活用し、町全体つながり、人と町も生き生きと活動・活躍できるサイクルを生み出します



- 例えば・・・
- ▶子どもも大人も本や雑誌を読む、アートプロジェクトに参加する、展示を見る、思い思いにひとりで過ごすことも仲間と過ごすこともできます
- ▶町民の皆さんの「やってみたい」を実現していく場をつくっていきます
- ▶施設の活動をともに支えるサポーター(仮)制度を整備します